

1月末で全国18万人が登録、東京土建CCUS助成は608人

# 現国土交通省が電気と圧送の基準を認定

## 国交省が評価基準認定 電気とコンクリート圧送

「建設技能者の能力評価基準」、職種ごとに専門工事業団体が策定を進めており、2月5日に新たに2職種(電気工事、コンクリート圧送)の技能者の評価基準が国交省により認定され、これで13職種が認定されました。

国交省は登録基幹技能者制度のある35職種の団体には3月末までに申請するよう要請しており、30職種程度が認定される見込みです。

支部にはデータで送付済みです。仲間への周知にお役立てください。[技対]

2019年10月8日 鉄筋、型枠、機械土工  
 10月25日 左官、内装仕上  
 10月31日 防水施工、切断穿孔、  
 サッシ・カーテンウォール、  
 建築大工  
 12月26日 トンネル、圧接  
 2020年2月5日 電気工事、コンクリート圧送

### 登録数 2020年1月末(12月比増数)

全国 技能者	182,631 (15,234)
事業者	33,377 (2,673)
東京 技能者	20,140 (1,561)
事業者	5,215 (316)



## 電気工事、コンクリート圧送の能力評価基準

R2.2.4 申請  
R2.2.5 認定



国土交通省

呼称	電気工事技能者	コンクリート圧送技能者
レベル4	就業日数	10年(2150日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録電気工事基幹技能者</li> <li>●優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)</li> <li>●卓越した技能者(現代の名工)</li> <li>・レベル2、3の基準に示す保有資格</li> </ul>
レベル3	職長としての就業日数	職長として 3年(645日)
	就業日数	5年(1075日)
レベル2	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1級コンクリート圧送施工技能士</li> <li>●青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター)</li> <li>・職長・安全衛生責任者教育</li> <li>・レベル2の基準に示す保有資格</li> </ul>
	職長又は班長としての就業日数	職長又は班長として 1年(215日)
レベル1	就業日数	3年(645日)
レベル1	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一種電気工事士試験合格者</li> <li>●第二種電気工事士免状取得者</li> </ul>
レベル1	(建設キャリアアップシステムに技能者登録され、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者)	

※ ●印の保有資格は、いずれかの保有で可。

## 支部・窓口の動き

### ◆板橋支部CCUS学習会

後継者対策部が事業所対象に約20人で学習会を2月8日夜、開催。学習の後は全員発言の懇親会。すでに事業所登録をネットで行っていた事業主さん、配られた技能者申請書を組合と相談して従業員の登録もしたい、人数分ほしいと持ってかえる姿がありました。



### ◆世田谷支部CCUS学習会

住宅センター会員向けに2月21日(金)午後7時から約50人程度で、事業者登録の進め方、用紙の記入学習を開催する予定です。

### ◆三鷹武蔵野支部

2月3日、書記局会議で1時間弱の認定登録機関としての受付について学習しました。

### ◆豊島支部、技能実習生の登録で来所

2月4日、(株)M社の社長と支部書記で本部来所。外国人実習生の受入れのため技能者登録。下請けなどに実際に雇用していない従事者が労務管理システムの労働者名簿に載っていて、今後、CCUSへの登録をすすめながら正常な雇用関係やにすることが課題とのことです。後登録する仲間が増え、組合加入につながるかもしれません。

### ◆非組合員の専門工事業者、本部に来所

1月21日、北電関係の専門工事業者で日本各地に支店のあるK電気(株)の東京支社の担当課長が技能者登録申請で来所。厚生年金の裏付けが年金手帳だったため、会社名記載のある「月額報酬決定通知書」などに差し替えるようお願いし、信頼関係を強めています。

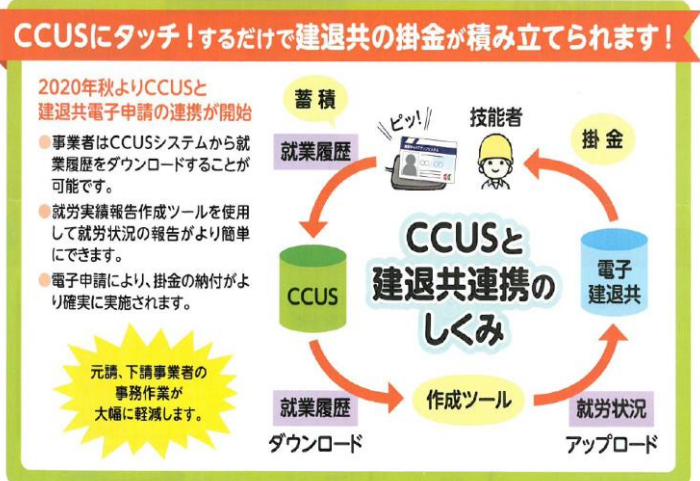
CCUS助成・承認登録・窓口開設数一覧				2020年2月5日 現在			
	2019年 1/1 組織数	2019年 目標数 12%	技能者 助成 給付数	承認登録機関		窓口	
				技能者	事業者	設置	公開
足立	8,720	1,046	6	91	52	○	○
荒川	2,009	241	33				
葛飾	4,562	548	1				
文京	1,125	135	57				
台東	1,599	192	52				
墨田	2,824	339	2				
江東	3,474	417	17	22	3	○	○
江戸川	9,064	1,088	37	83	28	○	○
板橋	5,008	601	12				
豊島	2,131	256	0			○	
北	2,863	344	20				
練馬	6,994	839	93	87	55	○	○
港	1,214	146	0			○	○
品川	2,118	254	41			○	
大田	4,715	566	1				
目黒	2,189	263	0			○	
渋谷	3,012	362	4			○	
世田谷	4,917	590	11				
新宿	1,775	213	0				
中野	4,687	563	0	75	3	○	○
杉並	3,383	406	0		2	○	
三鷹武蔵野	2,278	273	0			○	
狛江	1,434	172	55	16	2	○	○
調布	2,614	314	35	10	6	○	○
多摩西部	3,831	460	3				
西多摩	3,810	457	20	26	7	○	○
小金井国分寺	1,253	150	0	13	1	○	
府中国立	2,807	337	36				
八王子	2,201	264	3				
日野	2,453	294	1				
多摩・稲城町	2,252	270	0				
田	2,702	324	3			○	
小平東村山	2,815	338	40	11	4	○	○
清瀬久留米	1,680	202	9				
西東京	1,790	215	2	21	18	○	○
村山大和	1,979	238	14	42	12	○	○
本部	-	-	-	141	43	○	○
合計	114,282	13,715	608	638	236	21	13

※通算 ※準備含む

## 建退共本部が

## CCUSチラシを送付

建退共本部は、電子化の導入スケジュールは、電子申請方式の試行的実施を2020年秋ごろから半年間実施し、2021年4月から全面的・本格的実施の予定です。



1月に新たな実務担当者向けの『建退共の手引き』と建退共の宣伝チラシの他に、振興基金作成の建退共に連携するCCUSの宣伝チラシが、建退共事務組合、任意組合に送付されました。[貸対]